



ブルーベリー収穫体験

8月22日(木) 母屋森さんの「ブルーベリー狩り」をしてきました。いっぱい食べて食べて採って採って、お土産つきとティータイム楽しかったです!



ボランティア募集



10月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間です。清掃を予定しています。

一緒にボランティアに参加しませんか。

ご参加いただける方は、事務局まで電話ください。

日時: 10月26日(土) 9:00 現地集合

清掃場所: 近鉄御所駅周辺

※センターからお渡ししている黄色のベストを持っているかたはお持ちください。

ハンドメイドサークル

日時: 10月8日(火) 14:00~

場所: シルバー人材センター

一緒にハンドメイドしませんか😊

ご参加お待ちしております。



お知らせ

8月末で事務局の藤堂裕美さんが退職されました。

皆さんとお話するのが、楽しく元気をもらっていました。
本当にありがとうございました。



会員のおすすめ! 紹介

『水を縫う』 寺地 はるな/著 集英社文庫 2023.05 刊

主人公は高校一年生の清澄。新入学しての自己紹介で、好きなことは手芸ですと言って、周囲からういてしまう。中学校では、調理実習の手さばきに、「女子力」が高いといわれていた。結婚を控えた姉の水青は、昔のある体験の影響で、かわいいもの・ひらひらした服や華やかな場所が苦手だ。婚約者の両親の願いで結婚式をしなければならぬが、ウェディングドレスで悩んでいた。

清澄は、ひと針ひと針縫い進めていくときの静かな時間が好きだ。時々、自分の心がめっちゃくちゃにひかきまわされたと感じる時も、ゆっくり針を動かしているうちに落ち着くのだった。そして、姉にあうウェディングドレスを自分が作ると申し出るのだった。

姉のために、シンプルな純白のドレスに白い刺繍糸で「水」の流れを表現していくシーンは感動的だ。
「男なのに」「女らしく」ではなく自分は自分らしく、個性を大切にという著者からのメッセージが優しく読者に届く物語。

著者の寺地はるなさん 1977年、佐賀県生まれ。大阪府在住。2014年『ピオレタ』で第4回ポプラ社小説新人賞を受賞し、デビュー。2020年度咲くやこの花賞(文芸その他部門)を受賞。21年『水を縫う』で第9回河合隼雄物語賞を受賞、同作が本屋大賞12位に。22年、『ガラスの海を渡る舟』で本屋大賞11位。23年、本作にて同賞初ノミネート。

※御所市立図書館に所蔵されています。

会員 秋丸素子